

事務事業名	通信指令事業	整理番号	25303-000
所 管	消防本部 通信指令課		

事務事業の位置付け

期間	昭和40年度 ~ 平成 年度	根拠法令・要綱等	消防法
基本計画における位置付け	基本政策	2-5 防災体制の充実	関連政策
	政策	2-5-3 消防・救急体制の充実	

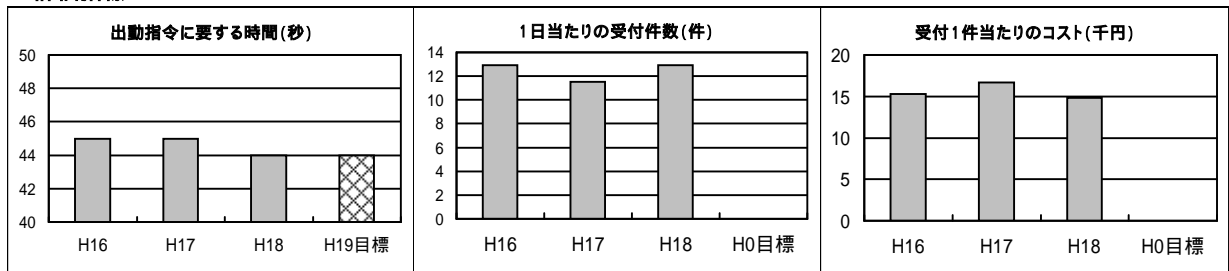
事務事業の内容

目的 (何のために)	各種災害を受信・出動指令・情報の収集及び伝達
対象 (誰・何を)	管轄区域内(御殿場市、小山町、東名高速道路内)の全て人命及び財産
手段 (どのようなやり方で)	通信機器等の維持管理を行い、各種災害に対する119番受信対応は、的確な情報収集及び迅速な出動指令と更に、現場活動隊への情報提供
成果 (どのような状態にしたいか)	119番受信から出動指令までの時間を短縮し、各種災害に因る被害を軽減し、市町民の安寧を保持する
事務事業の背景・住民の意向	昭和23年法律第186号に基づき昭和40年4月から市町民の生命、身体財産の保護のための事務事業
見直し改善の経過	

事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)
平成16年度	119番受付回数(火災・救急・救助・警戒) 4,714件	
平成17年度	119番受付回数(火災・救急・救助・警戒) 4,180件	
平成18年度	119番受付回数(火災・救急・救助・警戒) 4,732件	

評価指標



事務事業の評価

観点別・一次評価(担当部署の評価)		コメント	今後の方向性
観点別評価	必要性	的確な情報収集及び迅速な出動指令を確立するため、最新の地図情報・住民情報を市町から提供を受け、通信指令業務に反映し住民のニーズに対応している。	継続
	有効性		
	効率性		
一次評価	B		
二次評価(行政評価委員会の評価)		コメント	今後の方向性
二次評価	B	通信指令を担当する職員の資質の維持に努められたい。	継続

改革プラン

平成19年度からの対応	消防緊急通信指令施設実施設計及び装置の協議検討。
平成20年度以降の対応	消防緊急通信指令施設の導入に伴う指令装置等を十分把握し、今後予測される各種災害の多様化に向けて、住民のニーズに答えられるよう通信指令課員の資質の向上に努める
改革により予想される成果	初動体制及び災害出動の更なる迅速化、災害状況に応じた部隊と車両の適時適切な出動を可能とする。